

第 14 回 定時総会参考資料

日 時：令和 8 年 6 月 9 日（火） 午後 2 時 0 0 分 開会

場 所：ホテルアンビア松風閣

【定時総会議事】

1. 決議事項

第 1 号議案 令和 7 年度決算承認の件
監査報告

2. 報告事項

- (1) 令和 7 年度事業報告
- (2) 令和 8 年度事業計画及び収支予算
- (3) 令和 9 年度税制改正要望について

公益社団法人藤枝法人会

貸借対照表

令和8年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	113,326	136,325	△ 22,999
普通預金	5,812,785	8,074,234	△ 2,261,449
流動資産合計	5,926,111	8,210,559	△ 2,284,448
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	44,000,000	44,000,000	0
基本財産合計	44,000,000	44,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	8,972,000	16,295,000	△ 7,323,000
減価償却引当資産	2,532,581	2,532,581	0
事務改善引当資産	2,450,000	2,400,000	50,000
周年行事引当資産	1,600,000	1,400,000	200,000
部会周年行事引当資産	1,050,000	950,000	100,000
特定資産合計	16,604,581	23,577,581	△ 6,973,000
(3) その他固定資産			
什器備品	0	2	△ 2
電話加入権	72,800	72,800	0
その他固定資産合計	72,800	72,802	△ 2
固定資産合計	60,677,381	67,650,383	△ 6,973,002
資産合計	66,603,492	75,860,942	△ 9,257,450
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	0	0	0
預り金	0	0	0
未払法人税等	71,000	71,000	0
流動負債合計	71,000	71,000	0
2. 固定負債			
退職給付引当金	8,972,000	16,295,000	△ 7,323,000
固定負債合計	8,972,000	16,295,000	△ 7,323,000
負債合計	9,043,000	16,366,000	△ 7,323,000
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	-	-	-
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	57,560,492	59,494,942	△ 1,934,450
(うち基本財産への充当額)	(44,000,000)	(44,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(7,632,581)	(7,282,581)	(350,000)
正味財産合計	57,560,492	59,494,942	△ 1,934,450
負債及び正味財産合計	66,603,492	75,860,942	△ 9,257,450

正味財産増減計算書

自 令和 7年 4月 1日
至 令和 8年 3月31日

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	46,750	880	45,870
特定資産運用益	46,730	462	46,268
受取会費	18,294,250	18,769,250	△ 475,000
事業収益	2,730,505	2,821,075	△ 90,570
研修事業収益	774,000	681,110	92,890
広報事業収益	569,505	467,965	101,540
会員親睦事業収益	1,387,000	1,672,000	△ 285,000
受取補助金等	14,221,392	14,078,503	142,889
受取負担金	753,000	833,000	△ 80,000
雑収益	690,482	659,663	30,819
経常収益計	36,783,109	37,162,833	△ 379,724
(2) 経常費用			
事業費	32,502,546	34,180,995	△ 1,678,449
管理費	6,144,011	5,853,404	290,607
経常費用計	38,646,557	40,034,399	△ 1,387,842
当期経常増減額	△ 1,863,448	△ 2,871,566	1,008,118
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	2	0	2
当期経常外増減額	△ 2	0	△ 2
税引前当期一般正味財産増減額	△ 1,863,450	△ 2,871,566	1,008,116
法人税、住民税及び事業税	71,000	71,000	0
当期一般正味財産増減額	△ 1,934,450	△ 2,942,566	1,008,116
一般正味財産期首残高	59,494,942	62,437,508	△ 2,942,566
一般正味財産期末残高	57,560,492	59,494,942	△ 1,934,450
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等	12,854,700	12,592,500	262,200
一般正味財産への振替額	△ 12,854,700	△ 12,592,500	△ 262,200
当期指定正味財産増減額	0	0	0
III 正味財産期末残高	57,560,492	59,494,942	△ 1,934,450

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

定率法で減価償却を実施している。

(2) 引当金の計上基準

・退職給付引当金

事務局職員の退職給付に備えるため、当期末において発生していると認められる額を期末に自己都合要支給額に基づいて計上している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税込額で表示している。

2. 会計方針の変更

平成24年度より、公益法人会計基準(平成20年度基準)に変更。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次の通りである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	44,000,000			44,000,000
小 計	44,000,000	0	0	44,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	16,295,000	2,357,000	9,680,000	8,972,000
減価償却引当資産	2,532,581			2,532,581
事務改善引当資産	2,400,000	50,000		2,450,000
周年行事引当資産	1,400,000	200,000		1,600,000
部会周年行事引当資産	950,000	100,000		1,050,000
小 計	23,577,581	2,707,000	9,680,000	16,604,581
合 計	67,577,581	2,707,000	9,680,000	60,604,581

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次の通りである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応する 額)
基本財産				
定期預金	44,000,000	—	(44,000,000)	—
小 計	44,000,000	—	(44,000,000)	—
特定資産				
退職給付引当資産	8,972,000	—	—	(8,972,000)
減価償却引当資産	2,532,581	—	(2,532,581)	—
事務改善引当資産	2,450,000	—	(2,450,000)	—
周年行事引当資産	1,600,000	—	(1,600,000)	—
部会周年行事引当資産	1,050,000	—	(1,050,000)	—
小 計	16,604,581	—	(7,632,581)	(8,972,000)
合 計	60,604,581	—	(51,632,581)	(8,972,000)

5. 引当金の明細

引当金の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	16,295,000	2,357,000	9,680,000	0	8,972,000

6. 担保に供している資産

該当なし

7. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	2,763,300	2,763,300	0
電話加入権	72,800		72,800
合計	2,836,100	2,763,300	72,800

8. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金 県連補助金	一般社団法人静岡県 県法人会連合会	0	1,040,692	1,040,692	0	一般正味財産
全法連補助金	公益財団法人全国 法人会総連合	0	176,000	176,000	0	一般正味財産
助成金 全法連助成金	公益財団法人全国 法人会総連合	0	150,000	150,000	0	一般正味財産
全法連助成金		0	12,854,700	12,854,700	0	指定正味財産
合計		0	14,221,392	14,221,392	0	

9. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内容	金額
経常収益への振替額 事業費計上による振替額	12,854,700
合計	12,854,700

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細については、財務諸表の注記に記載している。

2. 引当金の明細

引当金の明細については、財務諸表の注記に記載している。

財産目録

令和8年 3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
	現金	手元保管	運転資金として	113,326
	預金	普通預金	運転資金として	5,812,785
		しずおか焼津信用金庫藤枝中央支店		4,752,002
		静岡銀行藤枝支店		566,849
		清水銀行藤枝支店		118,881
		スルガ銀行藤枝支店		72,965
		静岡中央銀行焼津支店		22,621
		島田掛川信用金庫藤枝支店		94,134
		静岡信用金庫藤枝支店		114,940
		大井川農協青島支店		70,393
流動資産合計				5,926,111
(固定資産)				
基本財産	預金	定期預金	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している。	44,000,000
		しずおか焼津信用金庫藤枝中央支店		17,000,000
		静岡銀行藤枝支店		10,000,000
		清水銀行藤枝支店		3,000,000
		島田掛川信用金庫藤枝支店		3,000,000
		静岡信用金庫藤枝支店		9,000,000
		大井川農協青島支店		2,000,000
特定資産				16,604,581
	退職給付引当資産	定期預金	職員に対する退職金の支払に備えたものであり、公益目的事業、収益事業等及び管理運営の用に供している。	8,972,000
		しずおか焼津信用金庫藤枝中央支店		8,972,000
	減価償却引当資産	定期預金	固定資産取得に備えたものであり、公益目的事業、収益事業等及び管理運営の用に供している。	2,532,581
		しずおか焼津信用金庫藤枝中央支店		2,532,581
	事務改善引当資産	定期預金	事務改善に対する支払に備えたものであり、管理運営の用に供している。	2,450,000
		しずおか焼津信用金庫藤枝中央支店		2,450,000
	周年行事引当資産	定期預金	周年行事に対する支払に備えたものであり、収益事業等(他1)の用に供している。	1,600,000
		しずおか焼津信用金庫藤枝中央支店		1,600,000
	部会周年行事引当資産	定期預金	部会周年行事に対する支払に備えたものであり、収益事業等(他1)の用に供している。	1,050,000
		しずおか焼津信用金庫藤枝中央支店		1,050,000
その他固定資産				0
	什器備品	藤枝市藤枝4-7-16	公益目的事業、収益事業等及び管理運営の用に供している。	0
	電話加入権	藤枝市藤枝4-7-16	公益目的事業、収益事業等及び管理運営の用に供している。	72,800
固定資産合計				60,677,381
資産合計				66,603,492
(流動負債)				
	未払金			
	預り金			
	未払法人税等			71,000
流動負債合計				71,000
(固定負債)				
	退職給付引当金		職員に対する退職金の支払に備えたもの	8,972,000
固定負債合計				8,972,000
負債合計				9,043,000
正味財産				57,560,492

監査報告書

令和8年4月21日

公益社団法人 藤枝法人会
会長 松永 勝裕 殿

監事 伊藤 彰彦 ⑩

監事 森 祐輔 ⑩

監事 長坂 祐二 ⑩

私ども監事は、令和7年4月1日から令和8年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行、計算書類及び事業報告並びにこれらの附属明細書を監査し、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第99条及び同法第124条に基づき、その方法及び結果について、下記のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

私どもは、理事会並びに各理事及び事務局と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び事務局職員からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告の内容について検討いたしました。

さらに、会計帳簿及びこれに関する資料の調査並びに現金、預金通帳等の実地調査を行い、当該事業年度に係る計算書類について、その適正性について検討いたしました。

2. 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実
は認められません。

(2) 計算書類等の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

令和7年度事業報告

自 令和7年4月1日

至 令和8年3月31日

I.概況

公益社団法人としての使命を達成するために、税知識の普及、納税意識の高揚とe-Tax（国税電子申告・納税システム）の普及推進、税制提言事業、経営支援事業、地域社会貢献事業等、公益目的事業に軸を置き様々な活動を展開して参りました。

また、会組織の強化、財政基盤強化のため、本会・青年部会・女性部会一体となって会員拡充に努めました。

II.主な活動は次のとおりです。

<公益目的事業>

1. 税を巡る諸環境の整備改善等を図るための事業

(1) 税制・税務に関する研修会・講演会・セミナー事業

会員をはじめ広く一般の企業及び市民を対象として、税制・税務を中心とした研修会・講演会・セミナーを、専門的知識を有する講師により実施し、税知識の普及による納税意識の高揚に努めました。

(2) 税制・税務の普及広報事業

税制・税務に関する研修会・講演会・セミナーの充実を図るとともに、「藤枝法人会報」No125・No126の発行・配布及び全法連機関紙「ほうじん」春号・夏号・秋号・新年号を配布しました。

また、e-Taxの利用拡大につきましては、藤枝税務署と連携協調を図りながら、本会が開催する会議、研修会、講演会、会報を通し、積極的利用を呼びかけました。また当会ホームページ上にもe-Tax等のバナーを設置し一般の企業及び市民に対する税務の普及啓発活動に努めました。

(3) 税の啓発及び租税教育事業

次世代を担う児童や生徒に税金への理解と関心を深める目的で、小学生対象の「夏休み親子税金教室」、
「税に関する絵はがきコンクール」、また、大学生対象の「租税教室」を実施しました。

(4) 税制改正への提言事業

①全法連において、全国の中小企業に租税負担の軽減と合理・簡素化及び適正公平な課税、税制・税務に関する提言を行うため、全国各法人会から税制に関する要望意見を取りまとめて、税制改正の提言を決議し、関係機関等に対し要望活動を実施しました。

②会員をはじめ広く一般の企業及び市民を対象として、当会にて作成した税制要望アンケートを実施し、税制に関する意見要望を取りまとめ、一般社団法人静岡県法人会連合会、公益財団法人全国法人会総連合に上申しました。

2. 地域の経済社会環境の整備改善等を図るための事業

(1) 講座・講演会・セミナー事業

会員をはじめ広く一般の企業及び市民を対象として、経済・経営、法律、文化・教養をテーマとした講演会・セミナーを、専門的知識を有する講師により実施しました。

(2) 地域社会への貢献事業

①地域イベント「藤まつり」への参加

②家庭内におけるピーク時間の使用電力削減を目指した「いちごプロジェクト」の推進

<収益事業等>

1. 会組織の充実を図ること及び全国各地の法人会との連携強化を図る事業、会員支援のための親睦・交流等に
関する事業

(1) 会員支援事業

以下の、会員サービスのPR、利用促進に努めました。

①財政基盤強化のため、大同生命保険株式会社、AIG損害保険株式会社、アフラック生命保険株式会社と
連携を密にし、また、福利厚生制度推進キャンペーン特別委員会を中心に、更なる法人会の福利厚生制度の
推進に努めました。

②地元医療機関（藤枝平成記念病院・西焼津健診センター・志太医師会検診センター）と提携し会員の健康
管理をアシストしました。

③中小企業向け貸倒保障制度を推進しました。（引受保険会社：三井住友海上火災保険株式会社）

④協力弁護士制度

⑤広告チラシ同封配布サービス

⑥法人会提携ローン

⑦ウィークリーメールマガジン「社会・経済のうごき新聞（通称：どっと読む）」の無料配信

⑧「早割電報」紹介サービス

⑨インターネットでセミナー受講「セミナーオンデマンドサービス」

⑩事業承継支援制度

⑪会員特典カード「法人会メリットカード」の利用及び特約店募集

⑫日産レンタカー割引制度

(2) 会員親睦事業

会員相互の親睦や異業種交流を目的に、観劇会、研修旅行、意見交換会、賀詞交歓会等の親睦事業を行
いました。

(3) 組織の充実・強化

組織基盤強化のために、令和7年度会員拡充推進計画を立案し、本会・支部役員・各部会が一体となり
会員増強運動を展開しました。その結果、3月末における会員数は、2,637社・個人賛助会員26名となり
ました。

(4) 諸会議の開催

①定時総会の開催

②理事会の開催

③各委員会の開催

④福利厚生制度推進キャンペーン特別委員会の開催

⑤その他必要な会議の開催

(5) 法人会相互の連絡協調

①一般社団法人静岡県法人会連合会の事業運営への協力

②東海法人会連合会との連携

③公益財団法人全国法人会総連合会との連携

2. 管理関係

(1) 定款や諸規程の適正な運用に努めました。

(2) 事務運営体制等の充実を図りました。

3. 表彰関係（順不同・敬称略、法人名・役職は表彰時で記載）

(1) 令和7年度公益財団法人全国法人会総連合 功労者表彰

公益社団法人藤枝法人会 理事 初亀醸造株式会社 代表取締役 橋本 謹 嗣

(2) 令和7年度一般社団法人静岡県法人会連合会 特別功労役職員等表彰

公益社団法人藤枝法人会 理事 丸天淡水魚株式会社 代表取締役 天野 大 輔

公益社団法人藤枝法人会 理事 丸池株式会社 代表取締役 池ヶ谷 聡

公益社団法人藤枝法人会 理事 静岡県産醤油株式会社 代表取締役 鈴木 良 彦

公益社団法人藤枝法人会 理事 株式会社藤興 専務取締役 西野 浩 史

(3) 令和7年度一般社団法人静岡県法人会連合会会長表彰

<功労法人表彰>

株式会社倉嶋自動車商会 代表取締役 倉嶋 雅 義

株式会社コヤマ 代表取締役 小山 明 一

株式会社島村膳文堂 代表取締役 島村 武 慶

株式会社清水一級建築設計事務所 代表取締役 清水 誠 一

株式会社杉浦純商店 代表取締役 杉浦 聡

株式会社チューブコーポレーション 代表取締役 杉山 茂 範

株式会社中屋 代表取締役 渡邊 芳 隆

株式会社長谷川鐵工所 代表取締役社長 長谷川 豪

焼津冷蔵株式会社 代表取締役社長 原崎 太 輔

<会員たる法人の役職員表彰>

株式会社いちまる 総務部部长 加藤 広 行

小川漁業協同組合 経理課長補佐 山下 直 希

焼津鯉節水産加工業協同組合 総務部部长 山田 哲 也

焼津水産化学工業株式会社 経営統括本部経理部長 守谷 充 雄

令和7年度事業報告 附属明細書

令和7年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和8年5月
公益社団法人藤枝法人会